

ニュースリリース

2018年3月14日  
新日鉄住金エンジニアリング株式会社

日新製鋼/呉製鉄所向け加熱炉燃料転換工事の完工について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社(代表取締役社長 藤原 真一、本社:東京都品川区 以下、当社)は、日新製鋼株式会社呉製鉄所(広島県)の熱延設備向けNO.1加熱炉(以下、本加熱炉)の燃料転換改造工事を、このたび完工しました。

本加熱炉は、当社が1985年に建設・竣工したウォーキングビーム式加熱炉です。今回、燃料として使用していた重油を都市ガスに転換する改造工事を行ったことにより、排ガス中の硫酸化物の排出量を大幅に削減するとともに、加熱能力あたりの二酸化炭素排出量を約20%低減することが可能となりました。

加えて、重油を燃料として使用していた際に必要であった燃料配管の定期清掃作業や燃料を加熱するためのスチーム消費も不要となり、操業コストの面でもメリットがあります。

日新製鋼株式会社呉製鉄所の加熱炉燃料転換は、2015年に完工したNO.2加熱炉に続く2例目となります。当社は、今後も日本国内、アジア地域を中心として、加熱炉の新設及び改造案件に積極的に対応し、先進の燃焼技術と工業炉のソリューション提案を通じて、お客様のエネルギーコスト削減と環境負荷低減に貢献していく所存です。

工事概要

対象設備	日新製鋼株式会社呉製鉄所(広島県呉市)内 熱延工場 NO.1加熱炉
製造鋼種	熱延鋼板
改造内容	C重油焼き→都市ガス(13A) 焼きへの燃焼システム改造



【改造後の燃料供給システム】

[お問い合わせ先]

CSR・広報部 広報室 03-6665-2366

URL <https://www.eng.nssmc.com/contact/>

以上